

科目名	日本文化史（民俗学）＜地誌を含む＞ 2					単位	2.0
担当教員	蒲池 勢至						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	4322

●授業のテーマ

カミ（神）とホトケ（仏）

●到達目標

日本人の民俗信仰について理解できるようになる。

●学習内容（授業概要）

民俗学は、世代をこえて伝承されてきた習俗・習慣を通して、日本人の生活文化や歴史を考察する学問である。今年度は「カミとホトケ」というテーマで、日本人の祖先信仰や民俗信仰を通して、「神と仏」の問題を講義する。具体的には、葬送儀礼や墓制、年中行事、民間宗教、民俗芸能をとりあげる。適宜、ビデオを使用して理解を深める。時間があれば、民俗学の具体的調査方法についても説明したい。

●学習内容（授業計画）

- ① 霊魂の行方と先祖…霊魂の観念、死の儀礼
- ② 同 盆の儀礼
- ③ 同 葬送儀礼
- ④ 同 墓制
- ⑤ 同 仏教と祖先祭祀
- ⑥ イエを訪れるカミ…去来するカミ、正月の儀礼
- ⑦ 同 小正月の訪問者
- ⑧ 同 田の神・山の神・家の神
- ⑨ カミを求めて … 御嶽講・富士講
- ⑩ 同 秋葉講・津島講・伊勢講
- ⑪ カミとの交流 … 神楽（花祭り他）、御柱
- ⑫ 同 収穫儀礼、アエノコト
- Ⅱ 民俗学調査法
- ⑬ 民俗学と調査、調査の具体的方法、資料のデータ化と分析の方法
- ⑭ //
- ⑮ まとめ

●準備学習・事後学習の内容

準備学習：テキストの関連する箇所を読んでおくこと。

事後学習：毎回の授業内容で関心をもった事について民俗学辞典などで調べてみる。

●成績評価方法・基準

学期末のレポート試験（80%）、出席と授業中の小レポート（20%）

●テキスト（必携）

＜No.1.＞書籍名：『民俗学講義』、著者名：谷口貢・松崎憲三編著、出版社：八千代出版、販売先：(株)Do

●参考文献／その他
授業で紹介する

●履修上の注意
本講義は、前期の「日本文化史（民俗学）1」と関連しているので、できれば継続して履修することが望ましい。